



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

2023 Faculty of Humanities and Social Sciences

人文社会学部

国際法政学科 人間社会学科 琉球アジア文化学科

沖縄から未来へ可能性を拓く



人文社会学部の教育研究上の目的

人文社会系の専門的、学際的分野において真理を探求し、それを基に、個人の尊厳と基本的人権を尊重する平和・共生社会の形成者、社会全体の持続的発展に寄与する人材を育成します。



人文社会学部 HP



人文社会学部長
安藤由美

学部長メッセージ message

21世紀も中盤に向かいつつある今、私たち人類は、これまでも我々を悩ませてきた人間の社会での紛争や抑圧に加えて、パンデミックという、これもまた古くて新しい脅威に立ち向かうことを余儀なくされています。そのような時代にこそ必要なのは、人文社会分野の知性とスキルであるといえます。人文社会学部では、私たち人間や地域社会、あるいは国際社会が抱える課題、その歴史や文化、そしてそもそも人間の精神・心とは何か、こういった問題に平和・共生・沖縄理解といった独自の視点から迫っていきます。

そして、学生の皆さんが、問題を自ら立て、それへの解を、ときには仲間と協働しながら見出ししていくような学びを通して、未来を構想し社会に向けて発信する力を4年間で十分に養えるよう、全力でサポートします。

国際法政学科……………P3
人間社会学科……………P5
琉球アジア文化学科…P7

学科・プログラム別募集人員

学 科	プログラム	入学定員	一般選抜		特別選抜		私費外国人	3年次特別編入
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ	帰国生徒		
国際法政学科	法学プログラム	80名	50名	14名	16名	若干名	若干名	4名 ※注
	政治・国際関係学プログラム							
人間社会学科	哲学・教育学プログラム	80名	41名	18名	5名	若干名	若干名	4名
	心理学プログラム				8名			
	社会学プログラム				8名			
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	40名	25名	9名	6名	若干名	若干名	2名
	言語学プログラム							
	文学プログラム							

人文社会学部は、国際法政学科、人間社会学科、琉球アジア文化学科の3学科のもと、法学プログラム、政治・国際関係学プログラム、哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム、歴史・民俗学プログラム、言語学プログラム、文学プログラムの8プログラムで構成されています。

※人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱは、各プログラム別で募集を行います。

※大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等、より詳細な情報は、『入学選抜要項』に記載がありますので、受験される方は必ずご確認ください。

※注 国際法政学科3年次特別編入の学力検査等は志望プログラム毎に行います。プログラム毎の目安人数は次のとおりです。

法学プログラム：2名、政治・国際関係学プログラム：2名

各プログラムへの配属について

各学科単位で募集を行い、1年次は合格した学科に所属します。1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき所属する学科の各プログラムに配属を決定します。(全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。)

※右記人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。ただし、人間社会学科において学校推薦型選抜Ⅱで入学した学生は、合格したプログラムに配属となります。

学 科	プログラム	受入人数
国際法政学科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人間社会学科	哲学・教育学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	32名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

アドミッションポリシー（求める学生像）

知識・技能…大学における人文社会分野の学びの土台となる高校での学習内容に関する
基礎的な力を有する人

思考力・判断力・表現力…答えが一つに定まらない問題に自ら解を見出していく基礎的な力を有する人

主体性・協同性…主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度・スキルを有する人

目的意識…人文社会学部の学問分野に対する強い関心と学びの意欲を有する人

教育カリキュラムの構成

			1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業 (進学・就職)
共通教育科目			教養領域（人文系科目、社会系科目、自然系科目、健康運動系科目） 総合領域（総合科目、琉大特色・地域創生科目、キャリア関係科目） 基幹領域（情報関係科目、外国語科目） 平和共生・沖縄理解科目群 ※上記から科目指定				
専門 教育 科目	学部共通 基礎科目		基礎演習Ⅰ ▶ 基礎演習Ⅱ ▶ 基礎演習Ⅲ				
	学部共通 科目		平和共生・沖縄理解基盤科目				
			キャリア関係科目				
	国際法政学科 法学プログラム 政治・国際関係学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
		プログラム専門科目	基盤科目 ▶ 発展科目				
	人間社会学科 哲学・教育学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
プログラム専門科目		コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目					
琉球アジア文化学科 歴史・民俗学プログラム 言語学プログラム 文学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目					
	プログラム専門科目	コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目					

1

「共通教育科目」の履修

1～2年次を中心に、全学共通の共通教育科目を履修することによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につけます。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関する科目を指定し、6単位以上を修得することです。これにより、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得します。

2

「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ」が1年次前期の配当で、大学生としての学びの基礎を修得します。「基礎演習Ⅱ」では、課題解決における最適解の導出についてその基礎を学修し、学科によっては、「基礎演習Ⅲ」を履修し沖縄と平和、共生について学修します。いずれも必修科目で、1年前期から2年後期の間の配当となります。「平和共生・沖縄理解」に関しては、学部の共通科目としても「平和共生・沖縄理解基盤科目」を設定し、各プログラムの学問分野と関連付けながら、平和共生・沖縄理解について基盤となる知を修得します。

3

「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目からなります。これらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけ、さらにその知を発展させます。

4

「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」及び「プログラム発展科目」からなります。（※国際法政学科は「プログラム基盤科目」と「プログラム発展科目」）。これらの科目を順次履修することによって、学部共通科目や学科共通科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによって、専門的な学びを学年が進むとともに深め、卒業論文を完成させます。（法学プログラムは選択）



学科概要

Department of Law, Politics & International Relations

1. 学科の教育理念・目的

国際法政学科は、法学・政治学・国際関係学に関する専門的知識を学び、豊かな学際的知を形成しながら、多様な社会との共生のあり方や持続的発展のための政策提言・発信力、及び平和共生社会を構築できる実践力を持つ人材の輩出を目指しています。そのため、当学科は、法学プログラムと政治・国際関係学プログラムから構成され、法学・政治学・国際関係学をバランスよく学べるカリキュラムを設けています。さらに、弁護士など法曹職を目指す学生向けに、法科大学院との「LS進学等特修クラス」を開講します。

2. 求める学生像

法学・政治学・国際関係学などを中心とする社会科学分野の学問を土台として、現代社会における諸問題を総合的かつ体系的にとらえて、問題の本質を見極め、その解決策などを研究していきます。そのため、当学科は、①人間社会や社会科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲を持った人材を求めています。

3. 育成する人材像

法学・政治学・国際関係学の学びを通して、リーガル・マインドを持ちつつ政治や行政、国際関係に精通する人材を養成し、地方・国家公務員、マスコミ、法曹、国際公務員、企業の国際職など高度専門職につける人材を輩出することを目指します。

国)、国立台湾大学などに留学しています。また、学科独自の授業として、短期の海外研修（ハワイ、ソウル、東南アジア）科目も展開しています。

主要科目

憲法・民法・刑法・商法・刑事手続と人権・民事手続法・行政法・社会保障法・労働法・刑事政策・LS 進学等特修クラス・政治思想史・政治過程論・行政学・地方自治論・公共政策学・国際政治学・日本政治外交史・国際関係史・国際社会学・比較政治学

想定する進路

※過去の実績に基づき抜粋

【国家・地方公務員等】

沖縄県庁、法務省（総合職）、外務省（総合職）、内閣府沖縄総合事務局、国税庁、福岡出入国在留管理局那覇支局、市役所・村役場、沖縄県警、那覇地方裁判所、琉球大学（事務）など

【マスコミ】

NHK、共同通信、琉球新報、沖縄タイムス、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、朝日新聞など

【民間企業】

琉球銀行、沖縄銀行、沖縄振興開発金融公庫、大同火災海上保険、沖縄電力、JAL、JTA、ANA、サンエー、日本郵便、JTB 沖縄、沖縄ゼロックス、ザ・ナハテラスなど

【大学院進学】

琉球大学、東京大学、京都大学、一橋大学、大阪大学、東北大学、早稲田大学、同志社大学、ハワイ大学など

留学について

琉球大学と提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。この制度を利用して、これまで、ハワイ大学（米国）、延世大学（韓国）、福建師範大学（中



海外研修（グアム）



海外研修（韓国ソウル）



1年次研修（県議会）



海外研修（米国ハワイ）

法学プログラム



■ 高田清恵先生のメッセージ

私達の生活には、様々な「法」が関わっています。現在のコロナ禍の中で生じている、医療のひっ迫や貧困などの問題も、医療や雇用、生活保障などに関する数多くの法令が関係していますし、人権保障に関わる問題でもあります。社会の中で生じる諸問題を、単に私的な出来事と見るのではなく、社会的問題、法的问题として把握し、国内外の変化も見据えつつ、どのように法や制度を構築し発展させていくかが問われています。法学プログラムでは、行政法、刑法、民法、労働法などの多様な法分野を学び、社会の諸問題に対して法のルールを使って問題解決ができるよう、法的な知識や考え方を学びます。法科大学院と連携した「LS 進学等特修クラス」も提供していますので、将来も見据えて、より深く実践的に法を学ぶことができます。

教員一覧

徳田 博人	教授	行政法
森川 恭剛	教授	刑法
高田 清恵	教授	社会保障法
戸谷 義治	教授	労働法
三浦 毅	准教授	民事手続法
李 妍淑	准教授	民法
一葉 幸	講師	民法

主なゼミでの学習テーマ

- ・ 民法改正を考える
- ・ 民事裁判における手続保障
- ・ 退職をめぐる問題
- ・ 職場におけるいじめ
- ・ 戦後沖縄の刑事法制
- ・ 辺野古裁判と地方自治
- ・ 行政処分職権取消と撤回
- ・ 医療保障と医療制度改革
- ・ 生活保護をめぐる問題
- ・ 民事法総合研究
- ・ 不法行為法制



授業風景



台湾研修

政治・国際関係学プログラム



■ 阿部小涼先生のメッセージ

政治学とは富を分ける方法を極めるといふ、古くからある公共性の学問だが、私的な領域もまた政治の問題だと喝破したのはフェミニズムだった。自由な個人という近代の思想は、人間を含めた生き物が、生存競争ではなく、助け合う本能に刮目した相互扶助論も生み出している。軍隊や警察や監獄は本当に必要なのか、奴隷制を廃止した思想がいまなお問い続けている。反復帰、逆格差、平時における軍事主義の暴力、これらは沖縄が彫琢し世界に投げかけている思想と方法といえる。

戦跡の遺骨は珊瑚の欠片と混じり合いながらどこに還るべきなのか。深夜の警察署前で私もまた傷つけられたと心が騒ぐのはなぜなのか。膨大な文献を渉猟し、文章と声を尽くして説明し、思想と方法をともに研鑽したいと思う学生に、政治・国際関係学プログラムは開かれています。

教員一覧

金 成浩	教授	国際関係史、ロシアを含む東アジア国際関係研究
阿部 小涼	教授	国際社会学、社会運動論、比較社会文化論
二宮 元	教授	比較政治学、福祉国家論
萩原 淳	准教授	日本政治外交史
山本 章子	准教授	国際政治学
前田 貴洋	講師	行政学、地方自治論、公共政策学

主な卒業論文テーマ

- ・ 日本のジェンダー・バックラッシュとポストフェミニズムの関係
- ・ 核ミサイル「メース B」配備から見る日・米・沖縄の権力構造
- ・ 日韓歴史共同研究の再検討
- ・ 沖縄県の高齢者の貧困率が他地域と比較して高い要因の分析
- ・ 沖縄県内自治体におけるパートナーシップ制度導入過程の分析
- ・ 普天間基地移設問題が及ぼす基地問題の性質変化
- ・ 沖縄における世代別の基地意識変化の要因



授業風景



学科概要

Department of Human Sociology

1. 学科の教育理念・目的

【**学科共通**】現代は、社会や自然の急激な変化や価値観の多様化の中で、人間をとりまく諸問題がますます複雑になっています。こうしたなかで、経済や科学技術、環境問題などに関する地球規模での人類の連帯の必要性とともに、地域・民族・文化・思想・伝統の多様性の認識が重要なテーマとなってきました。そして人間の心のあり方や人間らしい生き方、人間集団としての社会のあり方そのものが大きく問われています。人間社会学科では、人間を中心に据えながら、人類が直面する問題を社会・文化・地域・環境といった多角的な視点から探求し、幅広い知識と寛容の精神を持って時代の創造者になるような人材の育成を目指しています。

【**哲学・教育学プログラム**】哲学・教育学プログラムには哲学と教育学のコースがあります。哲学コースでは、生と死、人間・世界、知、環境、生命、科学技術等について、文献読解や討論を通じて原理的・本質的な探究を行い、同時に現実との具体的な関わりについても研究します。教育学コースでは、専任教員の専門である教育社会学を中心にしつつも、教育学部などの教育学関係の教員の協力も得ながら、多様な視点から教育の関わる諸問題にアプローチしていきます。

【**心理学プログラム**】心理学プログラムでは、心理学の基礎的分野から応用的分野まで幅広くカリキュラムが提供されており、包括的に心理学を理解してもらうことができます。また実験などを体験的に学ぶことで、科学的な方法論やデータ分析、さらには報告の仕方まで、心理学のみならず社会で活用できる能力も身につけることができます。

【**社会学プログラム**】社会学プログラムでは、社会学・福祉学・マスコミ学の3つのコースを軸としながら、人間と社会・地域との関係や問題を探っています。少人数教育のメリットを活かし、社会調査実習、福祉施設や相談機関での実習（社会福祉士資格関連）、新聞やTV番組制作実習などの実習科目に力を入れているのが特徴です。また、アジアからの留学生を多く受け入れ、国際交流を活発に行っています。平和問題や多文化共生など、沖縄ならではのテーマを十分に学習できる点も、社会学プログラムの魅力のひとつです。

2. 求める学生像

思想・教育・心・社会に強い関心を持ち、多面的な観点から物事を考察し自分なりの意見をまとめることができ、市民社会の発展や生活問題の解決にも貢献できる人を求めています。

3. 育成する人材像

人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きられる社会を形成できる人材を養成します。

留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学へと留学することが可能で、この制度を利用して、これまで（旧・法文学部時代）に、デュッセルドルフ大学、ハワイ大学ヒロ校、コンケン大学（タイ）、ラオス国立大学、延世大学などで学んだ学生がいます。また、文部科学省と民間企業とで運営する「トビタテ!留学 JAPAN」を利用した学生もいます。

哲学・教育学プログラム



■ 吉満昭宏先生のメッセージ

19世紀半ば、ドイツの哲学者 L. A. フォイエルバッハは「神学の秘密は人間学である」という趣旨のことを述べた。これはつまり、「神学」なるものは「神に関する学問」などではなく、実のところ、人間の理想に関する「人間学」に他ならない、というわけである。さて、時代はそこから2世紀ばかり下って、21世紀前半の今日の世界情勢を見てみよう。言うまでもなく、この時代の一つの特徴として「高度情報化社会」が挙げられるだろう。「ビッグデータ」「メタバース」「ブロックチェーン」「Society5.0」「DX」「IoT」などといった言葉が、日夜飛び交っている。そして、どの課程の教育現場であれ、データサイエンス教育やプログラミング教育、またそれらの必修化などが盛んに議論されている（実際、本学部でも情報系の科目が必修化された）。私はここで、先のフォイエルバッハに倣って「データサイエンスの秘密も人間学である」と言いたい。慧眼な方なら、もうその先は言う必要はないですね。データサイエンスや情報科学であれ、いや、それらこそ、その本質は哲学・教育学の観点から探求されるべきものなのです。と言うわけで、本プログラムでその辺の真相をじっくりと腰を据えて探してみるのも、ありだと思います。

教員一覧

長谷川 裕 教授	教育社会学（現代日本の教育と社会の関係）
寺石 悦章 教授	哲学、人間学、宗教思想、東洋思想
久高 将晃 教授	現代ドイツ哲学
吉満 昭宏 准教授	現代英米哲学、非古典論理学

想定する進路

大学院進学、公務（県市町村の役所の職員、警察官）、民間企業（金融、製造、情報通信、サービスなど）、高校教員

取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状（公民）



合同ゼミの風景

心理学プログラム



■ 泊真児先生のメッセージ

皆さんが大学で心理学を学びたいのは、なぜでしょうか？人間に興味があるから？身近な人（自分を含む）の問題を解決したいから？心理師の資格を取りたいから？生活に役立ちそうだから？きっと心理学を学びたい理由は様々でしょう。私の研究テーマの一つは、まさに皆さんのような「心理学初学者」の心理を明らかにすることです。

もし皆さんが、心理学に上記の理由の答えを求めているなら、あいにく心理学は、その答えを即座に提供できないでしょう。心理学は唯一の正解を与えてくれる学問ではなく、むしろ観察、調査、面接、実験、統計などを駆使して、その解を見つけ出そうとする地道な人間科学です。心理学は文理融合の魅力的な学問で、人の心のひだを感得するアートの感性と心の法則を実証的に明らかにするサイエンス的論理性が磨かれます。“人の在るところ遍く心理学あり”。さあ、人の森羅万象を共に探求していきましょう。

教員一覧

- | | | |
|-------|-----|----------------------|
| 島中 雄平 | 教授 | 臨床心理学、児童精神医学、発達障害 |
| 泊 真児 | 教授 | 社会心理学、心理学教育、青少年の健全育成 |
| 田中 寛二 | 准教授 | 臨床心理学、加害者臨床、カウンセリング |
| 高良 美樹 | 准教授 | 社会心理学、アイデンティティ |
| 草野 智洋 | 准教授 | 臨床心理学、ロゴセラピー、離婚後親子支援 |
| 新任 教員 | | 臨床心理学（予定） |



心理学実験の風景

想定する進路

大学院進学、国家公務員（一般職、家庭裁判所調査官、法務教官、法務技官など）、地方公務員（一般職、心理職等）、民間企業（金融、製造、情報通信、サービス、大学事務など）、心理専門職

【指定大学院修了後】

（教育相談員、病院心理士、スクールカウンセラーなど）

取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状（公民）
認定心理士

受験資格が得られるもの

公認心理師（卒業後に、実務経験、または、大学院進学が必要）

社会学プログラム



■ 比嘉要先生のメッセージ

今、私たちはどのような世の中を生活しているのでしょうか。皆さんはこの問いに答えることができると思います。それが可能なのは、住んでいる地域、国、世界など、自分を取り巻く環境に関する知識やイメージを持っているからに他なりません。では、それらは何によってもたらされたのでしょうか。

自分が直接経験していない「情報」によって社会環境・自然環境のイメージを形成する傾向が現代社会では加速しています。そして、構築された「環境像」をもとに私たちは自分の態度を形成し、行動に至ります。

マスコミ学は新聞やテレビだけでなくインターネットを含む様々なメディア・コミュニケーションを研究対象としています。毎日利用しているメディアが自分や社会にどのような影響を与えているのか、また、社会情報を伝えるジャーナリズムはどうあるべきか。送り手の視点が得られる実習や、講義を通してこれらのことを学んでいきます。

教員一覧

- | | | |
|--------|-----|------------------------------|
| 鈴木 規之 | 教授 | 国際社会学（タイ・ラオス、沖縄のグローバル化） |
| 野入 直美 | 准教授 | 比較社会学（移動、境界、マイノリティ、共生） |
| 比嘉 要 | 准教授 | マス・コミュニケーション学（メディアの社会的影響） |
| 渡久山 清美 | 講師 | ジャーナリズム研究（沖縄関連報道の調査・研究） |
| 水野 良也 | 教授 | 社会福祉学（グループを活用した福祉的援助） |
| 本村 真 | 教授 | 社会福祉学（人を支援するための有効な方法） |
| 田中 将太 | 講師 | 社会福祉学（NPOによる福祉サービスと中間支援） |
| 波名城 翔 | 講師 | 社会福祉学（島嶼福祉、精神障害者への支援、自殺予防対策） |

想定する進路

大学院進学、沖縄県やその他の官公庁（一般行政職や福祉職等）、沖縄県・市町村社会福祉協議会、病院、施設、相談機関、県内外マスコミ、民間企業（金融、運輸、流通、情報通信など）

取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状（公民）

受験資格が得られるもの

社会福祉士



福祉学コース授業風景



学科概要

Department of Ryukyuan and Asian Studies

1. 学科の基本理念・目的

【**学科共通**】本学科では、琉球・沖縄、日本、朝鮮半島、中国・台湾を、歴史、民俗、言語、文学を通じて多角的に、総合的に学びます。これらの地域は歴史的にも、現在も相互に影響を及ぼしあっています。地域研究を中心としつつ、他地域とのつながりも研究しています。

教育・研究を通して、資料（史料）・情報を収集する能力を身につけ、根拠ある主張を論理的に展開できる人材を育成したいと思っています。沖縄・琉球をはじめとする地域社会や文化を理解し、その継承発展に貢献したいと考えています。

【**歴史・民俗プログラム**】琉球・沖縄や日本、中国・台湾、朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究をします。専門知識を深めていくなかで、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを積極的に発信する人材を育成することを目指しています。

【**言語学プログラム**】琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究をします。文化の基盤となる言葉の理解を通して、異なる文化背景を持つ人々とコミュニケーションする能力を身につけます。

【**文学プログラム**】琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究をします。文化や文学を深く読み解くことを通して、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力の育成を目指しています。

2. 求める学生像

本学科では、次のような人に入学し、学んで欲しいと思っています。

(1) 琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を持っている人

(2) こうした地域の違いと類似性に目を向けつつ、主体的・積極的に研究できる人 (3) 社会・文化の発信や継承・発展に寄与することができる人

3. 育成する人材像

本学科は、琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の歴史・民俗、言語、文学に関わる学問を教授します。そして教育・研究を通して以下の人材を育成することを目標としています。

(1) 資料（史料）・情報を収集する能力を身につけた人材 (2) 資料（史料）・や情報の整理・分析を通して、根拠にもとづいた主張を展開できる人材 (3) 成果をまとめ、論理的で説得力のある説明ができる人材 (4) 他者との意見交換を通して、多様な見解や価値観を受け入れ、柔軟に修正・改善する姿勢を持つ人材

留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。この制度を利用して、これまで、ソウル市立大学（韓国）、延辺大学（中国）、国立台湾大学などに留学しています。また、台湾の協定校で研修を行う「海外文化研修（中国語圏）」の講義をとることもできます。

想定する進路

公務員、大学院進学、マスコミ、出版社、金融業・保険業、生活関連サービス業、郵便業、宿泊業、製造業、情報通信業、教育・学習支援業

取得可能な資格・免許

免許：中学校教諭一種免許（国語）、高等学校教諭一種免許（国語）、資格：博物館学芸員

歴史・民俗学プログラム



■ 高橋そよ先生のメッセージ

皆さんは、沖縄を中心に置いた世界地図を見たことがあるでしょうか。琉球弧に生きる人々は古くから様々な島や人と交流しながら社会を形成してきました。琉球王国時代には日本や中国、東南アジアの影響を受けながら独自の文化を発展させ、現在もそれは沖縄の文化に深く息づいています。さらに島々では、その社会や環境の特性に応じて、生業（なりわい）の技術や民俗語彙（みんぞくごい）、在来知、信仰、社会組織、経済慣行などの地域固有の文化を育んできました。島ごとに異なる文化の多様性との出会いは、琉球弧で民俗学を学ぶおもしろさの一つです。琉球民俗学ゼミでは、今を生きる沖縄・琉球の民俗文化を歩き、見て、聞く「フィールドワーク」を重視し、歴史軸の上に、その現代的な意味を思索することを大切にしています。

教員一覧

麻生 伸一	教授	琉球史
大瀨 郁子	准教授	沖縄近現代史
中村 春菜	准教授	中琉関係史
高橋 そよ	准教授	琉球民俗学



琉球民俗学のゼミ発表のようす



与論島でのフィールドワーク。伝統漁具の復原

言語学
プログラム



■ 當山奈那先生のメッセージ

「琉球語」と聞いて、例えば、どのようなものがうかびますか？最初の講義でたずねた時、学生からは、「アワテレー」「食べキレン」「クワッチーサビラ」「〇〇サー」「アイジャ」「マサイ」などが出てきました。私達は、このような琉球列島で話されているコトバについて、いわゆる伝統的なコトバや若い人達が使っている新しいコトバも含めて、幅広く研究をしています。ある有名な言語学者は、人間の言語を至高の芸術作品と例えましたが、琉球語のある辞典を作った方は、「人は無意識のうちに美しく素晴らしいコトバの布を織っている」とおっしゃっていました。複雑で細かく、システムティックな人間言語の謎に、地域のコトバから迫ってみませんか？

教員一覧

吉村 裕美 教授 日本語学
 當山 奈那 准教授 琉球語学
 金城 ひろみ 准教授 中国語学・中国語教育学



奄美でのフィールド調査の様子（2018年）



1年生の講義で大学内史跡をまわりました

文学
プログラム



■ 吳世宗先生のメッセージ

「朝鮮文学」からどのような文学作品を想像するでしょうか？『82年生まれ、キム・ジヨン』『フィフティ・ピープル』など、最近多く翻訳され始めた韓国の現代文学も「朝鮮文学」に含まれます。『春香伝』や『洪吉童伝』といった古典も、金東仁『いも』や李光洙『無情』といった戦時中の作品もちろん入ります。それだけでなく、朝鮮民族は世界に広がって生活していますので、英語で書かれたミンジン・リー『パチンコ』や日本語で書かれた金時鐘『猪飼野詩集』なども「朝鮮文学」です。このように「朝鮮文学」は歴史や地域、そして言語を超えた幅広いジャンルですので、世界史的な観点、ジェンダー的な観点あるいは日本文学との比較から考察することができます。ぜひ一緒にいろんな作品に触れてみませんか。

教員一覧

大胡 太郎 教授 日本古典文学
 新城 郁夫 教授 日本文学・沖縄文学
 吳 世宗 教授 朝鮮文学・在日朝鮮人文学
 前城 淳子 准教授 琉球文学
 平良 妙子 准教授 中国古典文学・琉球漢詩文



研修で勝連城址にいきました（2018年）



卒業論文発表会の様子（2019年）



韓国・釜山の「国際市場」映画「国際市場で会いましょう」の舞台

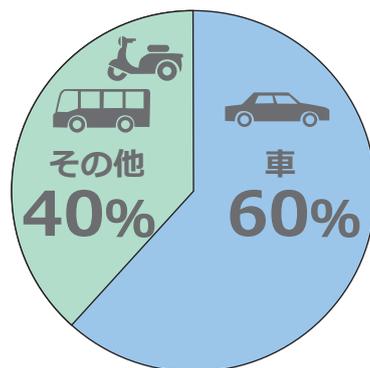
2022 年度年間スケジュール

4月1日	学年・前学期開始 (15 週)
4月4日～7日	全学部の新入生オリエンテーション サークル紹介
	人文社会学部の新入生オリエンテーション 個人の時間制作成 仮登録期間
4月5日	入学式
4月12日	前学期授業開始
5月28日	体育祭
7月17日	オープンキャンパス
8月3日～9日	前学期試験期間
8月17日～9月30日	夏季休業
9月24日・25日	琉大祭
9月26日～28日	後学期仮登録
10月1日	後学期開始 (15 週)・後学期授業開始
12月1日	学校推薦型選抜等
12月24日～1月3日	冬季休業
1月14日・15日	大学入学共通テスト
2月2日～8日	後学期試験期間
2月15日～3月31日	春季休業
2月25日・26日	一般選抜 (前期)
3月12日	一般選抜 (後期)
3月23日	卒業式



学年暦：琉球大学

教員から学生生活全般に対する助言や、科目履修等に関する説明があり、在校生からも様々なアドバイスがもらえます。



大学への
交通手段

人文社会学部では、約6割の学生が車で通学しています。2 km以上の通学距離がある場合、駐車場利用のための入構許可証が発行できます。(2022年4月1日現在)

授業料等 (2021 年度)	¥818,600	内 訳	
		入学金 ¥282,800	授業料(年額) ¥535,800

学生をサポートする各種制度があります

詳細は下記からご確認ください

各種制度	授業料・入学金免除等	給付奨学金 (日本学生支援機構) + 授業料免除 (大学) が受けられる修学支援新制度のほか、大学独自の緊急支援制度などもあります。		授業料・入学金免除等 (琉大 HP)
	奨学金	日本学生支援機構が実施する奨学金制度があります。		日本学生支援機構 HP
	学生寮	琉大キャンパスの宜野湾口 (北口) 近くに学生寮 (千原寮) があります。2022 年に改修工事が完了しました。		学生寮について (琉大 HP)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、琉球大学でも遠隔授業が実施されるようになりました。それとともに琉球大学では数理データサイエンス教育 (数理的思考力とデータ分析・活用能力を養う教育) の強化を方針に掲げています。今後はより一層パソコンやインターネットを活用した授業・学習の機会が増えていくことでしょう。以下では、これに関連したトピックを紹介します。

ネット環境 について

授業期間中、本学部 (文系講義棟) では授業で使用されていない時間帯については遠隔授業等で利用できるよう教室を開放しています。各教室では、学生なら無料で Wi-Fi の使用が可能です。

遠隔授業 について

遠隔授業の実施方法としては主に Microsoft Teams や Zoom、WebClass (e-Learning) を用いたものがあります。授業ごとに実施方法が異なりますので授業を履修する際に確認しましょう。

※Microsoft Teams のほか Microsoft Office のソフト (Word、Excel、PowerPoint 等) 及び WebClass は在学中、無償で利用できます。
※推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生活協同組合でも販売・サポートしています。

ノート PC 必携化

2022 年度入学生からノートパソコン等が必携となりました。ノートパソコン購入を検討される方は、こちらから大学が推奨する PC のスペックを確認できますので、参考にしてください。

※条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。
※推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生活協同組合でも販売・サポートしています。



パソコン等
推奨スペック

在学生インタビュー

人間社会学科

A さん／女性／3 年次
出身地…県外
住居…学生寮

奨学金： なし
仕送り： 月 4 万円
アルバイト： 月 4 万円
住居費： 3 万円
食費： 3 万円
ガソリン代： なし

講義

1 年次では基礎演習 I と II で人間社会学科の扱う様々な間に触れ、その中から 2 年次以降学びたい学問のコースを選択します。1 年次は必修の授業が少ないので、自分の興味のある共通教育科目をたくさん取り、多領域の学びを深めると良いと思います。2 年次では私の所属するマスコミ学コースは実習で新聞とドキュメンタリー制作を行い、実践的な学習ができました。私がこれまで取った授業はほとんど Zoom や Teams といった遠隔授業ソフトを使ったオンライン形式の講義でした。課題はレポート提出が多いですが、オンラインでテストをしたり、プレゼンテーションを準備したりする授業もあります。

サークル活動

琉大フォーククラブ (RFC) に所属しています。基本的にはサークル棟の部室で練習やライブを行います。外でイベントをすることもあります。部員が 100 人以上いて、様々な学部や年齢の学生と交流できます。私もオンライン授業が多いので友人が作りづらく、サークルの友人関係が貴重に思います。経験者と初心者が半々くらいです。どの部も週に 2 回ほど活動や集まりがあると聞きます。Twitter や Instagram のアカウントを作って宣伝しているサークルも多いので、調べてみると詳しく知ることができると思います。R 2 年度は課外活動の禁止が続きほとんど活動ができず残念でした。

アルバイト

以前はスーパーで働いていましたが、課題などとの両立が難しくなってしまう、今は自分で調整がしやすい単発バイトをしています。単発バイトは学生向けにアルバイト情報を紹介する会社に会員登録してアルバイトの申し込みをしています。週 3 日ほど働いています。琉大付近は多くの学生が飲食店やスーパー・コンビニで接客業をしていると聞きます。ただし人気があるらしいので、早めに応募したほうがいいそうです。移動手段があれば、塾や家庭教師も人気ようです。

琉球アジア文化学科

B さん／女性／3 年次
出身…県内離島
住居…アパート

奨学金： なし
仕送り： 月 8 万円
アルバイト： 月 3 万円
住居費： 5 万円
食費： 2 万円
ガソリン代： なし
その他： 月 1 万円

講義

コロナ禍でほとんどがオンライン授業になり、慣れるまでは大変でしたが、オンデマンドの授業もあったので、慣れれば時間を有効に使うことができるようになりました。

た。オンライン授業の不便な点は、大学の施設や教室の場所がなかなか覚えられなかったり、先生や同級生や先輩と関わる機会が少ないことです。私たちの学年は入学したときからずっとこの授業形態だったため、最初はなかなか友達ができませんでした。最近は対面の授業も増え、大学に行く機会も増えてきています。しかし、その分自分の履修している授業がオンデマンド型なのか、リアルタイムの遠隔式なのか、対面授業なのか、きちんと把握しておくことが必要で、それが少し大変だと思います。

サークル活動

サークルには所属していませんが、その分友人との時間や自分の趣味の時間、勉強の時間として活用しています。

アルバイト

大学内で、専門に関わるアルバイトをしています。自分の時間割に合わせてシフトを組むことができるため、勉強との両立がしやすいです。また、自分の専門の分野の勉強にもなるので一石二鳥です。

国際法政学科

C さん／女性／4 年次
出身…県内本島
住居…自宅

奨学金あり： 月 2.92 万円
(日本学生支援機構)
仕送り： なし (実家)
アルバイト： 月 4.5 万円～
住居費： なし (実家)
食費： 月 5 千円
ガソリン代： 月 4 千円
(コロナ禍になってから)
その他： 月 2 万円

講義

R2 年度に続き、R3 年度も多くの授業がオンラインでの開講でした。しかしゼミや履修者が少人数の授業では対面授業も行われ、R2 年度に比べると通学する日数は増えたように思います。オンラインの授業についても、Zoom や Teams などの対面授業では使用しなかったシステムの利用方法を身につけられたという点で、良い経験になったと感じています。

サークル活動

サークルには所属していません。その分、現在は趣味や課題・授業準備に取り組むなど、充実した時間の使い方ができています。

アルバイト

大学に入ってから、塾講師とペーカリーのアルバイトを経験しました。

まったく異なる仕事内容でしたが、働いてみて初めてその仕事の魅力や大変さを知ることが出来ました。学生のうちに好きなこと・興味のある仕事が出来るととても楽しかったです。どちらの職場も学業にも理解があり、テストや課題がある際はお休みをいただきました。それ以外にもコンサートのグッズ販売など、少しでも挑戦してみたいと思ったアルバイトには積極的に取り組んでいます。

琉球大学 人文社会学部 2023

国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科

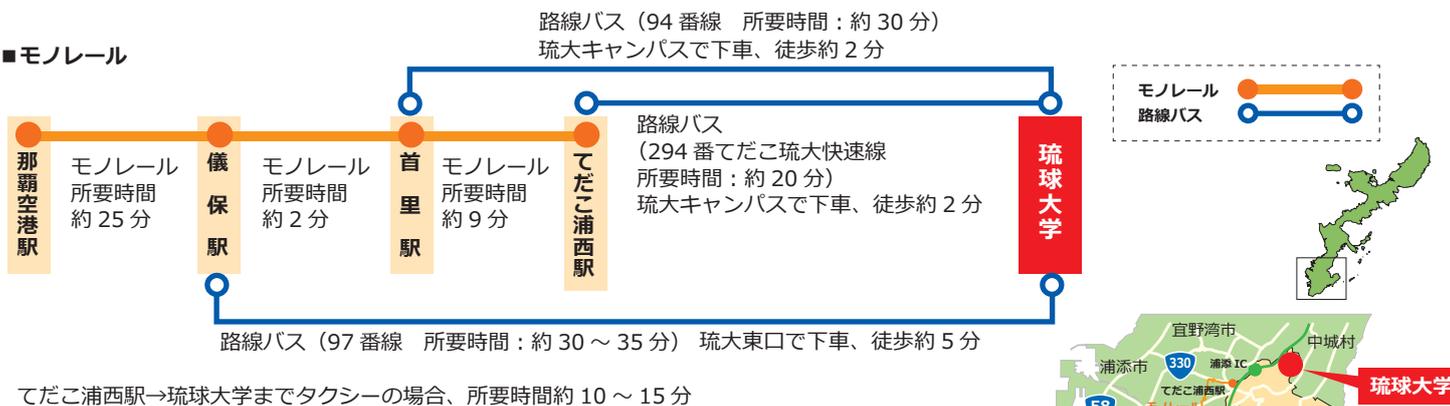


交通案内

空港 → 琉球大学（人文社会学部）

- 高速バス 111 番線、117 番線（琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バス）
113 番線、123 番線、152 番線（琉球バス）
国内線旅客ターミナル前 ⇒ 琉大入口（約 40～50 分） 下車、徒歩 15 分

■モノレール



バスターミナル → 琉球大学（人文社会学部）

- 路線バス（各 20 分～40 分に 1 本程度／所要時間：97 番→約 60 分 98 番→約 50 分）
- 97 番線（琉大東・北口方面） **経路** バスターミナル→国際通り（牧志）→儀保（首里）→琉大附属病院→琉大東口（下車、徒歩約 5 分）
- 98 番線（琉大北口方面） **経路** バスターミナル→国際通り（牧志）→国道 330 号→真栄原→冲国大前→琉大北口（下車、徒歩約 12 分）

※ 交通渋滞のため、バスが定刻どおり運行していない場合があります。
時間に余裕を持ってご来学くださいますよう、お願いします。

「人文社会学部」に関するお問い合わせ

人文社会学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL(098)895-8188 FAX(098)895-8187

人文社会学部事務室は、文系総合研究棟1階にあります。
「人文社会学部」に関連する最新情報は、琉球大学人文社会学部のホームページ
(<http://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>) でご確認ください。



琉球大学

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS